

開講年次・時期	1年前期	授業回数	30回	時間数	60時間	必修・選択	選択必修	授業形態	講義	単位数	4単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	------	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	介護過程 I	担当者名	芳賀砂智子(実務家教員)
授業の概要	・全てのケアは介護過程を考えたうえで成立していることを学ぶ。介護過程が、対象者のアセスメント、生活場面の観察、ニーズ把握、計画立案、実務、評価、モニタリングまでの一連の思考過程から成り立っていることを理解する。支援を提供する根拠を理解する。				
科目の到達目標	・介護個別援助計画を立案し適切な介護サービスを提供できる能力を養う ・他の科目で学習した知識・技術を総合して介護過程を展開する。 ・介護過程をケアに活かす意味を理解する。				
DPの観点	⑥専門知識・技能(40) ⑦思考力(20) ⑨主体性(20) ⑩問題解決力(20)				
授業時間外学修(予習・復習)	・テキストの習熟と専門用語を調べる。 ・予習・復習に関してはそれぞれ2時間程度の学習をすること。				
フィードバックの方法	コミュニケーションカードに疑問等を附してもらい、授業終わり、又は次の授業でフィードバックする。				
単位認定の要件	・授業時間内、決められた期日までの課題提出と、期末試験で合格基準を満たすことを単位認定要件とする。				
評価の方法・割合(%)	・期末試験(60) 課題レポート(20) 提出物(20)				
履修上の注意事項	・介護福祉士資格取得必須科目 ・30分以上の遅刻は欠席とする。なお、遅刻3回で欠席1回とする。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			介護過程意義1 介護過程を理解する	⑥⑦	コミュニケーションカード
2			介護過程意義1 介護過程と自分自身の関係を理解する	⑥⑦	コミュニケーションカード
3			介護過程意義3 介護過程の目的・目標を理解する	⑥⑦	コミュニケーションカード
4			介護過程意義4 介護過程の個別援助計画を理解する	⑥⑦	コミュニケーションカード
5			「介護福祉士が実践する介護過程とは」	⑥⑦	コミュニケーションカード
6			情報と介護過程の関係を理解する	⑥⑦	コミュニケーションカード
7			時代背景を理解する	⑥⑦	コミュニケーションカード
8			高齢者の生活を理解する	⑥⑦	コミュニケーションカード
9			情報の整理方法を理解する	⑥⑦	コミュニケーションカード
10			情報収集と根拠の関係性を理解する	⑥⑦	コミュニケーションカード
11			「生活支援における介護過程の必要性」	⑥⑦	コミュニケーションカード
12			介護過程とICF視点を理解する	⑥⑦	コミュニケーションカード
13			情報収集の信憑性を理解する	⑥⑦	コミュニケーションカード
14			情報収集の解釈視点を理解する	⑥⑦	コミュニケーションカード
15			「介護過程の目的と構成」	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
16			介護保険を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
17			高齢者と要介護度の関係を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
18			介護保険制度と関係法規を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
19			「介護過程の展開」	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
20			利用者のエンパワーメントを理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
21			利用者のニーズを理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
22			利用者のニーズの抽出方法を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
23			「アセスメント(情報収集)」	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
24			アセスメントと個別の情報収集について理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
25			情報収集と客観性を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
26			情報収集と客観性を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
27			「アセスメント(解釈・関連づけ・統合化)」	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
28			ICF視点の活用を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
29			専門職としての支援を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
30			専門職として把握する事実を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード・レポート
期末試験			まとめと確認		

使用テキスト	新・介護福祉士養成講座第9巻「介護過程」 荘村明彦 中方法規
参考文献 参考URL	「実習の手引き」青森明の星短期大学
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--